

令和8年度（2026年度）第1回東海市幼児教育研究協議会会議録

1 会議名 令和8年度（2026年度）第1回東海市幼児教育研究協議会

2 議題

(1) あいさつ

(2) 各委員紹介

(3) 正副会長選出

(4) 報告事項

令和8年度（2026年度）事業計画について

(5) 協議事項

相互体験交流・授業参観について

(6) その他

3 開催日時 令和8年（2026年）4月23日（木）

15:00から16:00まで

4 開催場所 東海市役所501会議室（5階）

5 出席者氏名

幼児教育研究協議委員11名

学校教育課指導主事	(会長)	加藤	雅尚
加木屋南保育園長	(副会長)	平野	里美
葵名和幼稚園 主任教諭		新美	咲季
大堀保育園長		深谷	直美
名和東保育園 主任保育士		東海林	純子
養父保育園 主任保育士		柳澤	信旨
三ツ池保育園 主任保育士		赤玉	裕子
加木屋南小学校長		鯉江	美穂
明倫小学校 教務主任		鈴木	信恵
渡内小学校 校務主任		大橋	裕也
主任児童委員		早川	あかね

事務局

幼児保育課長	千田 直子
幼児保育課 指導保育士	加藤 暢子
幼児保育課 主任保育士	久野えり子
幼児保育課 幼児教育専門員	草場利津子

6 欠席者氏名

元保育園長	坂 操子
葵名和幼稚園 副園長	水越由美子

7 公開・非公開の別 公開

8 傍聴者の数 0人

9 発言の内容

(1) あいさつ

市民福祉部長 濱田 眞理子

本日は御多忙の中、御出席いただきありがとうございます。

幼児教育研究協議会は、小学校教育と、幼稚園、認定こども園、保育園での幼児期の教育をつなぐ会として、幼児教育の振興を図ってきた。昭和49年に設置され、昭和56年から保育実践研究に取り組み現在に至ると聞いている。

昨年度は、市内全小学校の授業参観、相互体験交流や公開保育はじめ、保育参観、研修会に多くの関係者の方々に参加いただいた。

令和8年度に市内小学校へ入学した一年生は911人、年長児は816人の予定。この子たちが、充実した幼児期を過ごし、期待をもって小学校へと向かえるよう今年度も事業を計画している。本日の協議会では、今年度の事業について協議していただく。多岐にわたる事業であるが、これらによって小学校と幼稚園、こども園、保育園の一層の連携が図れるように思っている。

(2) 各委員紹介（自己紹介）

東海市幼児教育研究協議会委員 11名

事務局

4名

(3) 正副会長選出

会長 学校教育課指導主事 加藤 雅尚

副会長 加木屋南保育園長 平野 里美

(4) 会長あいさつ

毎年、幼稚園・小学校・中学校教員研修の手引きが、愛知県教育委員会より発行されている。この手引きには、教育の充実に向けて邁進するため、研修に関する具体的な手立てが、各章ごとにまとめられている。この手引きには、県として特に周知したい内容が、冒頭に特集ページとして記載されている。今年は、その特集の1番目として「幼保小の架け橋プログラム」の実施にむけて一子どもの「わくわく」「いきいき」とした姿を、園から小学校につなげるために一 が掲載されている。県としても、学校現場で力を入れて欲しい点であることが伝わってくる内容となっている。

東海市では、以前より本協議会が中心となり、幼児期の保育及び教育と小学校教育との円滑な連携を図っており、後ほどこの話題にも触れられるかと思うが、本年も引き続き、連携についてみなさまのお力をお借りできればと思う。

(5) 報告事項

令和8年度（2026年度）事業計画について

資料参照

- ・ 第2回協議会を12月に予定している。同日協議会後に小学校・幼稚園・保育園・認定こども園の職員と小学校教諭の合同研修会を予定している。架け橋期の充実につながる話が聞けるとよいと考えている。
- ・ 授業参観には委員の皆様にもぜひ参加していただき、ご意見を願いたい。
- ・ 保育参観及び研究協議は4保育園で実施。昨年度は、子どもの姿から、育ちつつある「資質・能力」を共通理解した。就学を間近に控えたこの時期の園児の姿を参観していただき、研究協議に参加していただくことは大変有意義であると考えている。

- ・ 保育参観について、一番畑保育園は1月22日（金）、みどり保育園は、1月29日（金）、大田保育園は、1月27日（水）、加木屋南保育園は、1月26日（火）に実施する。
- ・ 小学校教諭と保育園保育士・幼稚園教諭・認定こども園保育教諭の相互体験交流について、それぞれが生活を体験して子ども理解をし、それぞれの学習方法を知ることを目的とする。
- ・ 幼稚園児・保育園児・こども園児との交流は、幼稚園3園、認定こども園2園と保育園5園とで実施する予定である。
- ・ 公開保育について、名和保育園は7月23日（木）、木庭畑保育園は7月9日（木）、高横須賀保育園は8月6日（木）に実施する。小学校の先生にも参加していただきたい。
- ・ 研究紀要45号の担当は公開保育実施園の3園となる。
- ・ 広報紙「かきつばた」を発行し、協議会内容や各事業を報告する。

（6）協議事項

① 交流事業の充実について

事務局：昨年度の協議会で、事業の充実を図ることで架け橋プログラムについての対応ができると意見が一致したことを受け、交流事業の充実を図りたい。保育参観により多くの学校の先生が参加できるよう、皆さんの意見が伺いたい。

<意見>

- ・ 保育参観では就学前の育ちを捉える機会としており、1月2月に実施しているが、昨年度の参加者が2名ということから、参加が難しい時期であるのか。

⇒入学説明会があり、バタバタしている時期ではあるが、2月よりは1月の方が参加しやすい。

参加地域が絞られていることで参加のしにくさもある。地域を広げてはどうか。

事務局) 対象校・園は地域を分けているだけで、地域外への参加も可能である。

・小学校へ早い時期に日程を知らせることで、職員体制を整え参加することは可能になるのか。

⇒依頼があれば、担当が参加できるよう体制を整える。

⇒昨年度、保育参観が開催されていたことを知らなかった。担当がいなくても、教務主任や校務主任が参加できるといいと思うため、もっと周知が必要ではないか。

事務局) 幼児教育研究協議会の様々な事業の中で、周知していく。また、日程を周知することに加えて、年長児の育ちを理解し架け橋期に大切にしたいことを共有するという目的も伝えていく。文書での案内だけでなく、周知の方法も検討する。

(7) その他

令和7年度研究紀要No.44が完成し、各機関に配布した。委員さんには本日お手元にお配りしました。ご高覧いただきたい。

(8) 閉会

いろいろご協議いただきありがとうございました。この一年、幼児教育研究協議会の各事業に対して、格別のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

以上

記録作成者

幼児保育課

草場利津子

議事録確認委員

会長

加藤 雅尚